

日本共産党葛飾区議会議員団

きむら



こんにちは
木村ひでこです

事務所 葛飾区青戸5-27-5 2021年
TEL:03-3690-8631 携帯090-8640-5378 5月号

1人1台タブレット 「貸出の支援をする」と答弁

4月16日の区議会文教委員会で、「1人1台タブレット活用について」の報告がありました。

日本共産党区議団は、インターネット環境の整備が困難な家庭には、区として支援するよう、繰り返し求めてきました。

区は、あくまでも家庭でインターネット環境の整備をしてもらおうとして、そのために実態を調査するとしていました。

文教委員会では、新入生の10%、前年度モバイルルーター（インターネットを使うための機械）を貸し出してきた約1300世帯のうち、5%程度がインターネット環境の整備ができていない状況にあるとのことでした。

区は、「どうしても整備できない事情がある場合は貸出を支援する」と示していますが、1人も置き去りにしてはなりません。支援するということは、各家庭での負担にならないようにすることです。

宿題などのデジタル化も検討されていますが、経済的な理由でタブレットを家庭で使えない状況がうまれるようなことは、避けなければなりません。

新型コロナウイルスワクチン接種 諦めないで

第4波の感染拡大が深刻さを増しているなか、葛飾区でも新型コロナウイルスワクチン接種がはじまりました。

75歳以上の方には、新型コロナウイルスワクチン接種のクーポン券が順次送付されています。

「電話が繋がらない」「予約が取れない」「必要性を感じながらも諦めた」と沢山の声がありました。

5月分の集団接種は受付終了となりましたが、6月分も10月分まで順次予約開始を行います。

また、予約受付開始日なども、広報かつしか・ワクチン接種予約サイト・葛飾区ホームページなどでお知らせをいたします。

お困りのこと、不安なことはどんなことでも日本共産党にご相談下さい。

生活・法律相談
毎月第一水曜日 18:30～ 木村ひでこ事務所にて
木村ひでこ事務所若しくは携帯にお電話下さい。

高齢者肺炎球菌ワクチン 自己負担4000円から1500円に

東京都の高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種の補助事業が実施されることにともない、接種費用の一部を助成します。

対象は、2021年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方など、区内高齢者約1万5400人です。

接種を希望する方は、4月から9月までに電話申し込み等により、9月に予防接種予診票を郵送します。

期間は、2022年3月31日まで。詳しくは「広報かつしか」に掲載。接種対象者全員に、ハガキでお知らせが行きます。

支援制度が活用できます

緊急小口資金（15万～20万）

総合支援資金（月20万、原則3ヶ月）

返済免除制度があります。

葛飾区社会福祉協議会（03-5698-2457）

住宅確保給付金…収入減で家賃が払えない方、原則3ヶ月、最長12か月、返済不要です。

区役所福祉管理課（03-5654-8625）

休業支援金・給付金…休業前の80%を支給

厚生労働省コロナ対応休業支援金

給付金コールセンター（0120-221-276）



11回目のコロナに対する申入れを行いました。

コロナ対策 11回目の申し入れ PCRの大規模検査など26項目

党区議団は、4月23日、青木区長にコロナ対策の申し入れをしました。今回で11回目になります。

今回の申し入れでは、高齢者の月1回1千円に改善したPCR検査を現役世代まで広げ無料にすることや、保健所体制の強化、連休中の相談体制の強化など26項目を求めました。緊急事態宣言発出に至ったのは、政府がやるべきことをやってこなかった結果です。国・都は、今度こそ感染を封じ込めるために、大規模なPCR検査、徹底した営業補償、医療機関への減収補てんに政策転換すべきです。また、夏の東京五輪オリンピック・パラリンピックは中止し、コロナ対策に集中すべきです。